



報道資料

平成16年9月10日

中国電力株式会社

株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

台湾電力における脱硝触媒再生FS業務の受注について

当社は、今後本格化する電力自由化に対応するため、グループ経営の強化を重要な施策と位置付け、これまで当社グループが蓄積してきた技術、設備および人材等の経営資源を活かし、グループ一体となった様々な取り組みを進めています。

この一環として、当社は、台湾のコンサルティング会社である吉興(ジーシン)工程顧問股份有限公司(略称:GIBSIN)^{※1}および当社グループ企業である株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス(略称:PET)とともに、台湾電力公司^{※2}から台中発電所^{※3}における脱硝触媒再生FS(フイージビリテスタディ:実行可能性調査)業務を受注しました。

脱硝触媒は、石炭等の燃焼に伴い発生する窒素酸化物(NO_x)を除去するため、石炭火力発電所等の排煙脱硝装置で使用しているもので、運転年数とともに劣化し脱硝効率も低下していきます。このため、脱硝触媒は、5～10年で取替または再生する必要があります。また、脱硝触媒の再生費用は、取替費用と比較して半分以下であり、触媒再生に対するニーズも高まっています。

当社は、昭和54年、世界で初めて下松発電所2号機に脱硝装置を採用して以来、脱硝触媒の性能把握や再生に関する技術を自社独自で開発してきました。これらの保有技術を活用し、当社グループで再生事業を幅広く展開していることから、台中発電所における脱硝触媒再生FS業務の入札に参加していました。

なお、海外事業については、これまで台湾において水力発電所・変電所に関するコンサルティング業務の受注はありましたが、グループを含めた火力発電事業に関する海外事業案件の受注は、本件が初めてとなります。

1. 受注した脱硝触媒再生FS業務の概要

台湾電力公司 台中発電所における脱硝装置内の触媒再生に係る技術的調査全般

(1) 脱硝触媒の性能評価

データ解析等により脱硝触媒の性能を把握し、劣化要因の究明を行います。

(2) 脱硝触媒の再生試験

脱硝触媒の再生試験・評価を行います。

(3) 脱硝触媒再生手法の提案

触媒再生の経済性評価を行い、台中発電所における最適な触媒再生方法の選定を行います。

2. 受注3社の業務内容

(1) 中国電力株式会社

- ・脱硝触媒再生FSの取りまとめ
- ・吉興工程顧問股份有限公司との連絡, 調整

(2) 株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス

- ・触媒再生に係る技術的調査

(3) 吉興工程顧問股份有限公司

- ・台湾電力との連絡, 調整

3. 業務受注期間 平成16年8月～平成17年5月(予定)

以上

※1 吉興工程顧問股份有限公司

設立 : 1979年

所在地 : 中華民国台北縣新店市

董事長 : 謝 季壽(シェイ チショウ)

業務内容 : 火力発電所建設・運営に係るコンサルタント業務, 送配電・製造業エンジニアリング, 環境エンジニアリングなど

※2 台湾電力公司

設立 : 1946年

所在地 : 中華民国台北市

董事長 : 林 清吉(リン チンジー)

販売電力量 : 1, 594億kWh(2003年)

発電設備容量 : 3, 329万kW(2003年)

電源構成 : 水力 451万kW(41箇所)

火力 2, 364万kW(33箇所)

(石炭約50%, 石油約15%, LNG約35%)

原子力 514万kW(3箇所)

※3 台中発電所

所在地 : 中華民国台中縣龍井鄉

火力発電所 : 総出力468万kW

石炭火力 : 55万kW×8基

ガスタービン : 7万kW×4基

